

このウインドウを閉じる



中央値補正法とは？

選択科目間の有利・不利をなくすための点数調整のことで、選択科目間での有利・不利はありませんので、得意科目を選択するのがベストです。

本学では「中央値補正法」で点数調整を実施しています。中央値補正法とは、各試験科目の成績順で中央に位置する人の得点(中央値: 1,001人受験した場合は、501番目の人の成績)を、その科目の満点の5割の点数となるように全体を補正するものです(ただし、満点と0点は動かしません)。平均点は各科目の全受験者の点数を合計して、人数で割り出した点数のことをいい中央値とは大きく異なります。

【中央値補正法の数式】

中央値補正法による補正後の点(以下、補正点という)は、次の数式によって算出しています。

1. 素点(元点) < 中央値 (1,001人受験した場合は501番目の人の成績) の場合

$$\text{補正点} = \frac{\text{満点の5割の点}}{\text{中央値}} \times \text{素点}$$

2. 素点(元点) \geq 中央値の場合

$$\text{補正点} = \frac{\text{満点の5割の点}}{\text{満点} - \text{中央値}} \times (\text{素点} - \text{中央値}) + \text{満点の5割の点}$$